# 反原発・脱原発 通信（仮称）

2012年第1号（通巻1号）
2012年5月9日発行

府中で原発について
考え行動する会（仮称）

《連絡先》東　浩一郎
府中市是政6-5-58 TEL080-5428-5391
azumarv@gmail.com

# 原発をなくすため地域から行動を

5月5日に泊原発が止まり、現在日本で稼働している原発はなくなりました。今のところ電力が不足することもなく、生活への影響もありません。それでも夏の電力需要が高まる時期に向けて、政府は原発再稼働を画策しています。

しかし、現在に至るも福島原発事故の原因解明すら済んでおらず、いまだに被害に苦しんでいる人たちがたくさんいる中で、再稼働など許されるはずはありません。

私たちは、平和まつり実行委員会の呼びかけで、昨年来、デモ、講演会、シンポジウムを開き、原発の危険性を訴え、これの廃絶を求めて行動してきました。そして、その過程で、多くの人と出会い、交流してきました。

そこで、平和まつりあるいはそこに集ってきた団体・個人の枠を超え、多くの人たちと議論し、地域から原発をなくすための大きな運動を作って行こうと会を呼びかけるに至りました。したがって、会の名前も何をやるのかも決まっていませんが、すでに様々なアイデアが出されています（裏面参照）。5月15日に3回目の会議を持ち、今後の具体的な行動について決定する予定です。初めての方も大歓迎ですので、ぜひご参加ください。

## 5月15日 第3回 府中で原発について考え行動する会（会議）のお誘い

■第1回会議（4月13日）

約20名が集まり、自由に議論しました。そこで出された意見のいくつかを列挙します。「5月5日に原発ゼロの日を子どもたちにプレゼントしたい。」「飯館村で作っているドキュメント映画の上映会をやりたい。（すでに上映運動を進めているので情報を流したい）」「昨年9月の6万人集会をピークに残念ながら運動は収まりつつある。じっくり準備して、再度反原発運動の高揚を作り出したい。」「すでに府中でも様々な行動がなされている。この会ではこれらの情報を集約して共有する機能を担うべきである。」「山本太郎さんがデモの時に沿道の人に呼び掛けていたのが印象的だった。府中でも多くの人に呼び掛けられるようなことをしたい。」「できるだけ楽しい会にしていきたい。」

■第2回会議（4月27日）

参加者が8名と少なく、具体的なことを企画するには至りませんでした。裏面の企画案が出されていますので、これをもとに3回目の会議で議論したいと思います。

**第3回会議　日時：5月15日（火）19：00～**
**場所：府中グリーンプラザ7F第5会議室**

# 現在までに出されている企画案一覧

## ■基本的な活動方針

1. 東電・東芝への抗議申し入れの継続を含むデモ行進などの街頭行動
2. 福島の現状、放射能の影響などを知るための継続的な学習会
3. さまざまな分野で活動している人を招いての講演会
4. 府中市内を中心とした活動の交流・情報の共有

## ■具体的な企画案

| 番号 | 企画の種類 | 講師等 | 講師等プロフィール |
|---|---|---|---|
| ① | 講演会 | 長谷川健一さん | 福島県飯舘村の酪農家。５８歳。飯舘村前田地区区長<br>福島県酪農業協同組合理事 |

2011年3月15日、福島原発から約40キロの飯舘村に雨と雪が降って大量の放射性物質が降り注ぎ、4月22日 には全村が計画的避難区域に指定された。現在、村民は村外での生活を強いられている。飯舘村で長年酪農を営み50頭の乳牛を飼っていたが、4月末にやむなく酪農を休止。……出荷制限のため、原乳を絞っては捨てざるをえない日々。我が子同然に育ててきた牛に、十分なエサを与えることもできず、次第にやせ細り、結局別れなければならないという現実。原発事故が飯舘村にどれほどの苦悩をもたらしたのかを伝えるために、事故後に購入したビデオカメラで村の現状を記録、全国行脚を続けている。

★長谷川さんからのメッセージ：≪今、世界でも類をみない、とんでもない原発事故がこのせまい日本の福島で起きています。私たちが味わった苦しみ、かなしみ、等をぜひ全国のみなさんに知ってほしい。そしてこの大事故を風化させないでほしい!!≫

| | | | |
|---|---|---|---|
| ② | 講演会 | 豊田直巳さん | 1956 年、静岡県生まれ。フォトジャーナリスト 。2003年、平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞。日本ビジュアルジャーナリスト協会（JVJA）会員 |

イラクやパレスチナなどの紛争地を巡り、人々にとっての「戦争と平和」を写真や映像で報道。劣化ウラン弾問題やチェルノブイリ取材の経験から、原発震災以降はフクシマを中心に取材し、新聞、雑誌やテレビで報道。最新刊に『フォトルポルタージュ 福島 原発震災のまち』（岩波書店）、『豊田直巳編 TSUNAMI 3・11』（第三書館）、『JVJA写真集 3・11 メルトダウン』（凱風社）、その他に『戦争を止めたい』（岩波書店）、『子どもたちが生きる世界はいま』（七つ森書館）、『大津波アチェの子供たち』（第三書館）、『イラク戦争下の子供たち』（第三書館）、『イラク 爆撃と占領の日々』（岩波書店）など写真集、著書多数。DVD作品に『知られざるＤＵ（劣化ウラン）の恐怖』（日本語・英語二ヶ国語版）などがある。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ③ | 講演会 | 村上達也さん | 脱原発首長会議メンバー |

「全国原子力発電所所在市町村協議会（全原協）は、電源給付金を要求しながら経済産業省と一体となって、原発を推進してきた」「「電源交付金」とはいかなるお金ないでしょうか・・・。」　＊4/28.東京新聞より抜粋*

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④ | 講演会 | 渡辺敦雄さん | 元、東芝原子炉格納容器設計者 |

放射能から命を守ろう！　今こそ、脱原発　福島の原発は今、どうなっているのか？
*働く者の権利を守る　第83回メーデー集会実行委員会のチラシ転用、抜粋*

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑤ | 講演会 | 吉原毅さん | 城南信用金庫理事長 |

「原発に頼らない安心できる社会へ」を宣言。信用金庫は資本主義の矛盾を是正するために生まれた金融の地産地消システムを学ぶ。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑥ | 講演会 | 稲本正さん | オークヴィレッジ代表 |

人間が、もっと植物に学ばなければいけない時代が来ている。植物の光合成は究極の太陽エネルギー利用。例えば、人間的考えでいけば、葉っぱが緑なのはおかしい。効率を考えたら黒が太陽エネルギーを吸収するには、黒がいちばん良い。(中略) 全部取ってしまったら大気の気温が低くなってしまう・・・

| | |
|---|---|
| ⑦ | 脱原発川柳の募集 |

街頭でも募集して優秀作を１０点くらい選定し、発表する。最優秀作には、そうですねえ手回し式ラジオかな？　多摩版の各新聞社にも送って広めるのもいいかも。

| | |
|---|---|
| ⑧ | 脱原発（替え）歌集の作成 |

⑦と似ていますが、斉藤和義の「みんなウソだったんだぜ」など有名なもののほかにもいくつかあれば探して、なければ作って歌集にしてデモなどの際に歌ったり、配ったりする。

| | |
|---|---|
| ⑨ | 定例ちょうちんデモ |

「安保つぶせちょうちんデモ」というのがありました（いまもあるかな？）が、定例で毎週木曜（とか）の夜にちょうちんをかかげてデモをするというのはどうでしょう。「脱原発でちょうちん」というのが何となくいいと思いませんか。まあキャンドルってのが今風ですが、あえてレトロなちょうちんにこだわりたいところです。距離は短くて商店街一周くらいでいいと思いますが、少人数でも注目は浴びそうです。そういえば、交通安全だか火の用心だかで、１０人くらいのおじさんたちが歩いていることがありますが、あのイメージです。